

2024年7月理事会議事録

日 時：2024年7月27日（土）14：00～17：40

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出 席：石川日出志・大竹幸恵・宮本一夫・青柳泰介・石井淳平・一瀬和夫・岩本 崇・
植田 真・大坪志子・岡寺 良・忍澤成視・黒尾和久・黒澤 浩・澤田秀実・高
倉 純・高田祐一・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・山崎和巳、監事：谷口 榮、
（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：足立拓朗・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎監事：萩野谷 悟

進 行：岩本 崇

議 長：石川日出志

岩本理事から、本日の出席者は22名（うち理事20名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

議案第782号 退会会員の承認について

水本理事から、栃木県の*会員から2024年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

また、賛助会員（学生会員）の東京都の*会員から学生資格の喪失により2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第783号 アーカイブス小委員会委員の選任等について

石川会長から、谷口 榮委員及び担当理事であった足立佳代委員の退任に伴い、神奈川県橋本裕行会員、東京都の平田 健会員の2名を新たに委員として選任し、アーカイブは協会全体の実務・運営に関わることから石川会長が担当理事を務めるとの説明があり、原案通り承認された。

議案第784号 理事選挙制度検討小委員会委員の選任について

水本理事から、唐澤至朗委員長及び長瀬 衛委員の退任に伴い、群馬県の志村 哲会員を新たに委員として選任し、芹澤清八委員が委員長に、水本理事が担当理事を務めるとの説明があり、原案通り承認された。

議案第785号 『日本考古学年報77（2024年度版）』の刊行等について

大坪理事から、『日本考古学年報77（2024年度版）』の内容及び刊行までのスケジュールの説明があるとともに、各理事に執筆者の選定委員案と執筆要項が提示され、執筆者選定委員は一部担当者を修正の上、承認された。各理事には担当になった時代・地域の執筆者について、期限までの選定・連絡が求められた。

議案第786号 研究環境検討委員会・研究倫理部会の委員の選任について

藤沢理事から、研究環境検討委員会内の研究倫理部会では、部会長の矢島國雄委員の退

任に伴い、東京都の都築恵美子会員を新たに委員として選任し、部会長を佐藤宏之委員が務めるとの説明があり、原案通り承認された。なお、研究倫理部会は、アイヌラウンドテーブル（以下、アイヌRT）への参加を担当しており、アイヌRTで協議中の研究倫理審査委員会の設置によっては、当会内での位置づけを検討する必要がある。

報告第1015号 第3回指名型プロポーザル審査委員会について

大竹副会長から、公式サイトのリニューアルにあたり、①7月8日（月）に第2回指名型プロポーザル審査委員会を開催し、プロポーザルに参加の回答を得た2社からの企画書の検討や審査方法について打合せを行った。②その上で、7月13日（土）に2社のプレゼンテーションを実施し、その後、第3回委員会を開催して、公式サイトリニューアルの委託業者としてナカシャクリエイテブ株式会社を選定したとの報告があり、了承された。続けて、審査委員4名から講評をいただいた。

報告第1016号 公開シンポジウムについて

黒澤理事から、7月3日（水）に第1回実行委員会を開催し、公開シンポジウム「考古学が解明する邪馬台国の時代」の実施方法を協議した。①会場及び別会場と、オンライン配信で開催することとし、協会公式サイトに掲載する申込フォームからの事前申込で受け付け、資料代等は事前支払とする。②会場は、発表者がいる会場参加は先着順とし、定員を超えた場合は配信による別会場を案内する。③ポスター・チラシを作成し、またPDFのチラシデータの配信などにより広報に努める。④当日の会場での受付方法や運営体制について協議した。⑤終了後にYouTube配信を行う提案があり、プレゼンデータの著作権の処理等の観点から、発表者に確認の上、実施を検討するとの説明があり、各理事に当日の運営協力が求められた。

報告第1017号 大学関連小委員会準備会について

石川会長から、6月21日（金）に第90回総会で設置が承認された大学関連小委員会について発起人4名で準備会を開催し、小委員会の設置に向けて、研究環境検討委員会と扱うことの違いや連携等について確認し、小委員会の規定案の検討や委員構成について意見交換を行ったとの報告があり、了承された。

報告第1018号 アイヌ関係団体からの質問状等について

藤沢理事から、6月理事会で報告したアイヌネノアンアイヌ・人が人であるための学問を問う会からの公開質問状について、①アイヌRTの4学協会で統一した見解を出すことで他3学協会から了解を得たこと、②回答期限までに次回アイヌRTが開催できないことから進め方については検討中であることが説明され、了承された。

報告第1019号 2024年度第90回総会の報告等について

岡寺理事から、①千葉大学で開催された第90回総会について、実施概要が報告された。②企画担当理事の協議により、次年度第91回総会の研究発表申込から、新たに誓約事項に「日本考古学協会倫理綱領を遵守すること」を加え、申込書様式を一部修正した。③今後

の総会・大会の開催予定地について説明があり、了承された。

報告第1020号 2024年度島根大会の実施概要について

岩本理事から、2024年度島根大会の日程及び実施概要の説明があった。島根大会は対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、懇親会・図書交換会・エクスカーション（見学会）等、コロナ禍前に行っていた全ての行事を対面で実施することが説明され、了承された。

報告第1021号 各委員会等における2024年度会議等報告について（その4）

1 広報委員会の報告

大竹副会長から、7月10日（水）に委員会を開催し、①来年度もカフェde考古学を実施することとし、各委員会に実施の有無、計画の検討を求める。②9月8日（日）開催の公開シンポジウムや2024年度島根大会の開催について、それぞれプレスリリースを行うこととする。③公式サイトのリニューアルにあたり、公式サイト運用方針の整備を検討したとの報告があった。また、公式サイトリニューアルの委託業者決定を受けて、契約前に、業者の企画書と仕様書との合意形成が必要であり、当初の契約予定日より若干遅れる旨が説明され、了承された。

2 国際交流委員会の報告

足立理事に代わり岩本理事から、国際交流委員会では「発掘された日本列島」展から遺跡を選定し3カ国語に翻訳して海外に紹介する事業等を行っているとの説明があった。

続けて宮本副会長から、国際交流委員会の新たな事業として、海外から研究者を招聘してシンポジウムを開催し、その成果を掲載した『Japanese Journal of Archaeology』を刊行できるように、科学研究費補助金の申請を検討しているとの説明があり、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

藤野理事から、7月21日（日）に幹事会をオンラインで開催し、①福島市西久保遺跡について、今後の動向を注視する。②港区高輪築堤跡について、5・6街区の確認調査が実施されることとなり対応を協議した。③広島市広島城三の丸地区の開発計画について、保存要望書の提出を検討している。④北九州市旧門司駅遺構について、イコモス国内委員会の保存活動等を引き続き注視していく。⑤来年度のカフェde考古学について実施の方向で検討したとの報告があり、了承された。

4 アーカイブス小委員会の報告

石川会長から、7月9日（火）に委員会を開催し、新たな体制となることから引継ぎと現状確認を行った。①今年度のアーカイブ対象予定資料について協議し、また小委員会の最終年度なことから報告書を作成する必要があることを確認した。②小委員会解散後に残ったアーカイブ関連業務について、理事会に検討を求めるとの報告があり、了承された。

5 陵墓の報告

岩本理事から、①陵墓学術名称ワーキングについて、中間報告をとりまとめたが、継続して検討を行う必要がある。②7月26日（金）に陵墓16学協会の全体会議及び宮内庁との陵墓懇談を行ったとの報告があり、了承された。

6 災害対応委員会の報告

澤田理事から、①6月14日（金）に文化財防災センター事業報告会が開催され、澤田理事・岡林孝作委員が参加した。②文化遺産防災ネットワーク推進会議が7月10日（水）に開催され、足立理事・澤田理事が参加した。③令和6年能登半島地震の文化財防災センターのレスキュー事業に、杉井 健委員長及び岡村勝行委員がそれぞれ参加する予定であるとの報告があり、了承された。

7 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

黒尾理事から、7月19日（金）に日本旧石器学会・日本文化人類学会との連携について準備会を開催した。②7月21日（日）に委員会を開催し、引継ぎと新体制での運営の整理を行ったとの報告があり、了承された。

報告第1022号 名義使用の後援申請に関わる承認について

山崎常務理事から、水無瀬離宮を未来へつなぐ実行委員会から歴史シンポジウム「水無瀬離宮の黎明と終焉・水無瀬という場を考える」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

以 上